

# 公募の概要

別紙

プログラム名	対象とする研究開発課題	研究開発経費※ (年度当たりの上限額)	研究開発期間	備考
重点領域型研究開発 (ICT重点研究開発分野推進型)	情報通信審議会「新たな情報通信技術戦略の在り方」第1次中間答申(平成27年7月28日)及び第2次中間答申(平成28年7月7日)を踏まえ、IoT/BD/AI時代に対応して、技術実証・社会実装を意識した、新たな価値の創造や社会システムの変革に寄与するICTの研究開発課題	フェーズⅡ: 2,000万円	フェーズⅡ: 最長2か年度	平成29年度新設
若手ICT研究者等 育成型研究開発	ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の斬新な技術を発掘するために、若手研究者又は中小企業の研究者が提案する研究開発課題。	【中小企業枠】 フェーズⅠ: 300万円	フェーズⅠ: 1か年度	中小企業研究者 フェーズⅠのみ
地域ICT振興型 研究開発	地域に密着した大学や地域の中小・中堅企業等が実施する、地域固有の社会的・経済的課題の解決や地域社会・経済活動の活性化に寄与する研究開発課題。	フェーズⅠ: 300万円 フェーズⅡ: 1,000万円	フェーズⅠ: 1か年度 フェーズⅡ: 最長2か年度	

※別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分。

# 採択評価の主なポイント

<b>重点領域型研究開発 (ICT重点研究開発分野 推進型)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 研究開発目的が社会的課題の解決に資するなど、妥当なものであるか。</li><li>• 研究開発の内容は先進的なものであるか。</li><li>• 研究開発手法(テストベッドにおける検証等を含む)が妥当であるか。</li><li>• 研究開発成果が、技術実証・社会実装を意識したもので、ICTによる新たな価値の創造や社会システムの変革に寄与するものか。</li></ul>
<b>若手ICT研究者等育成型 研究開発</b>	<p>(中小企業枠)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 中小企業の斬新な技術の発掘の観点で評価できる研究開発か。</li><li>• ビッグデータ分析の専門家(データサイエンティスト)の育成の可能性(加点評価)<ul style="list-style-type: none"><li>○ビッグデータの利活用のための研究開発か。</li><li>○データサイエンティスト育成への貢献が認められるか。</li></ul></li></ul>
<b>地域ICT振興型研究開発</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 以下のいずれかの観点で評価できる研究開発か。<ul style="list-style-type: none"><li>○当該地域固有の社会的・経済的課題に対し、情報通信技術の面から解決できる課題であるか。</li><li>○研究成果を活用して地場産業の振興、新規事業の創出、地域住民の生活向上等、地域社会・経済活動の活性化に寄与できる課題であるか。</li></ul></li></ul>

詳細は、以下のウェブページに掲載する研究開発課題の提案要領及び評価の手引きをご参照ください。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/scope/](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/)

# 平成29年度に向けた見直しのポイント

## 重点領域型研究開発で新課題の設定

情報通信審議会「新たな情報通信技術戦略の在り方」第1次中間答申(平成27年7月28日)及び第2次中間答申(平成28年7月7日)等を踏まえ、重点領域型研究開発(ICT重点研究開発分野推進型)を設定。

IoT/BD/AI時代に対応して、技術実証・社会実装を意識した、新たな価値の創造や社会システムの変革に寄与するICTの研究開発を推進。

対象: 大学、民間企業、研究開発法人、地方自治体等の研究者

期間: 最長2か年度(フェーズⅡにより実施)

費用: 単年度2,000万円(直接経費上限額。別途、間接経費30%)